

第11回議会報告会（平成30年11月）報告書

平成31（2019）年2月

那須塩原市 議会報告委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回が第11回目の開催となった。

前回に引き続き常任委員会ごとの3班体制とし、班別の実施分としては各班において1会場を担当、計3会場において開催した。各会場での意見交換では、担当する班が、自班のテーマについて市民の声を伺った。

また、初めての試みとして、全議員が一堂に会し「議会フォーラム2018」を開催した。会場では、少人数のテーブルに分かれ、ワールドカフェ形式を採用し市民と意見交換を行った。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

1. 実施概要	2
2. 主な意見・要望等〔班別実施分〕	4
I. 各班テーマにおける声	4
1. 数字からみる協働のまち	
2. 子どもの未来のために	
3. 空き家等の対策について	
II. その他の声	5
1. 各会場でのその他意見・要望	
2. アンケート自由記入欄の意見・要望	
III. 執行部及び議会に対する主な意見・要望(再掲)	6
1. 執行部に対する意見・要望	
2. 議会に対する意見・要望	
3. 主な意見・要望等〔議会フォーラム分〕	7
I. テーマにおける声	7
II. その他の声	9
1. 各会場でのその他意見・要望	
2. アンケート自由記入欄の意見・要望	
4. まとめと考察	10
5. 資料	14
・平成30年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕(班別実施分)	
・各班報告書	
・平成30年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕(フォーラム分)	
・各テーブル報告書	

1. 第11回議会報告会（平成30年11月）実施概要

班別実施分

（1班）

開催日時	平成30年11月13日（火） 午後6時30分～8時30分			
開催場所	南公民館			
参加人数	24人（男性16人、女性8人）			
担当議員	進行役	齊藤 誠之	班 長	小島 耕一
	司 会	吉成 伸一	報告者	君島 一郎、森本 彰伸、吉成 伸一
	記録者	田村 正宏、鈴木 伸彦、高久 好一、玉野 宏		
班 テーマ	数字からみる協働のまち			

（2班）

開催日時	平成30年11月13日（火）午後6時30分～8時30分			
開催場所	鍋掛公民館			
参加人数	5人（男性5人、女性0人）			
担当議員	進行役	佐藤 一則	班 長	星 宏子
	司 会	星 宏子	報告者	相馬 剛、平山 武、中村 芳隆
	記録者	山形 紀弘、大野 恭男、金子 哲也、山本 はるひ		
班 テーマ	子どもの未来のために			

（3班）

開催日時	平成30年11月13日（火）午後6時30分～8時30分			
開催場所	稲村公民館			
参加人数	4人（男性3人、女性1人）			
担当議員	進行役	松田 寛人	班 長	中里 康寛
	司 会	齋藤 寿一	報告者	眞壁 俊郎、相馬 義一、伊藤 豊美
	記録者	中里 康寛、星野 健二、櫻田 貴久		
班 テーマ	空き家等の対策について			

議会フォーラム分

(全議員により開催)

開催日時	平成30年11月17日（土）午後1時30分～4時			
開催場所	東那須野公民館			
参加人数	45人			
担当議員	統括・報告	齊藤 誠之	進行	星 宏子
	各テーブル ホスト	A 山形 紀弘、B 中里 康寛、C 田村 正宏、D 小島 耕一 E 森本 彰伸、F 櫻田 貴久、G 玉野 宏、H 金子 哲也、 I 吉成 伸一、J 相馬 剛		
テーマ	那須塩原市で必要なまちづくりとは			

2. 主な意見・要望等〔班別実施分〕

I. 各班テーマにおける声

1. 数字からみる協働のまち

①自治会加入・活動・役員等に関すること

- ・子どもの行事が多く若い人が自治会を抜けてしまう。子どもの見守りなどで若い人たちと連携が取れると良いのではないかな。
- ・自治会未加入の人たちには、自治会が消防の補助金や防犯灯の電気代を払っていることを理解してほしい。
- ・お年寄りが見守りを受けられるのは自治会の大きなメリットである。役は受けられなくてもそういったメリットを与えていくべきである。
- ・自治会に入っているけどメリットを受けていない人がある。入会のメリット、デメリットを明確にするべきである。
- ・自治会行事は一度参加するとハードルが低くなり抵抗なく参加するようになる。
- ・自治会に対する補助金の増額を要望する。
- ・市が地域にやってもらいたいことを明確に発表してほしい。
- ・自治会行事は地域の人々が一堂に会する滅多にない機会。そこから友人の輪が広がる。

②協働のまちづくりに関すること

- ・単発の活動はできても、継続が難しい。コーディネーターがうまく繋いでくれると良いのでは。
- ・ボランティアポイント制度の対象を広げ、付与をしてはどうか。
- ・休耕田を使って子どもや高齢者の芋掘り、蕎麦作りもやっている。保全会のグループホームでのそば打ちは7年くらい続いている。
- ・老人会と育成会がコラボできる仕組みづくりが重要。
- ・伝統行事の継承が重要。
- ・子育て世代はほとんど共働きなので地域行事に携わる時間がない。

2. 子どもの未来のために

①子どもの居場所づくりに関すること

- ・家庭の日（第3日曜日）の徹底を。

②子どもの地域の見守り活動に関すること

- ・通学路に街灯が少ない。
- ・育成会に関して、学校と地域の連携が大切である。

③その他

- ・ALT を効率よく活用してほしい。

3. 空き家等の対策について

①空き家等の現状に関すること

- ・市営住宅（若松団地）は、空き室が多く、約20%が空き室となっている。理由の1つは居室設備が古いので若い人は入居しないとのことだった。また、保証人の規約が厳しいため、入居したい人が入居できない。

②空き家等の対策に関すること

- ・空き家の有効活用として、SHOZOさんのような商売をするなどの活用もあるが、高齢者福祉の場として、例えばいきいき百歳体操や高齢者の生きがいや集まれる場としても活用できるようにしてほしい。できれば自治会で空き家を借りて、活用したいし、その場合に補助金制度があるなど、環境を整備してほしい。

Ⅱ. その他の声

1. 各会場でのその他意見・要望

- ・道路を老人や子どもの目線でチェックして欲しい。
- ・札幌の雪まつりのような、他市から人を呼べるイベントを実施すべき。
- ・議員の活動がなかなか見えない。
- ・議員定数は30人くらいいてもよいのではないか。
- ・市の広報について、現在は月2回だが月1回に戻ることにはできないのか。仕事をしながら広報を配っているのだが負担が大きい。また、情報量が多く、細かい字を読むのは大変だ。
- ・広報誌と議会だよりをファイリングしているのだが、穴の位置が違うので、できれば統一してほしい。

2. アンケート自由記入欄の意見・要望

- ・議員の方々に意見を言える貴重な機会だが、やはり子育て世代の参加は難しいのかなと感じた。どうすればもっと興味を持ってもらえるのか。私も考えていきたいと思う。
- ・参加させていただいて、個人の意見をしっかり聞いていただけたことを感じた。
- ・提案に対する意見を望む。
- ・本日の参加者4、5名。どうしたら参加者を増やせるのか。私は議員ではないが、もっともっと意見提案をしていきたい。そういう機会はなかなかないので。
- ・大変参考になった。議員諸氏の今後のご活躍を期待している。
- ・議員さんと自由に話し合いが出来て良かった。次回も参加したいと思う。

Ⅲ. 執行部及び議会に対する主な意見・要望（再掲）

1. 執行部に対する意見・要望

- 「数字からみる協働のまち」に関して
 - ・自治会に対する補助金の増額を要望する。
 - ・市が地域にやってもらいたいことを明確に発表してほしい。
 - ・ボランティアポイント制度の対象を広げ、付与をしてはどうか。
- 「子どもの未来のために」に関して
 - ・通学路に街灯が少ない。
 - ・育成会に関して、学校と地域の連携が大切である。
 - ・ALT を効率よく活用してほしい。
- 「空き家等の対策について」に関して
 - ・市営住宅（若松団地）は、空き室が多く、約20%が空き室となっている。理由の1つは居室設備が古いので若い人は入居しないとのことだった。また、保証人の規約が厳しいため、入居したい人が入居できない。
 - ・空き家の有効活用として、SHOZOさんのような商売をするなどの活用もあるが、高齢者福祉の場として、例えばいきいき百歳体操や高齢者の生きがいや集まれる場としても活用できるようにしてほしい。できれば自治会で空き家を借りて、活用したいし、その場合に補助金制度があるなど、環境を整備してほしい。
- その他
 - ・道路を老人や子どもの目線でチェックして欲しい。
 - ・札幌の雪まつりのような、他市から人を呼べるイベントを実施すべき。
 - ・市の広報について、現在は月2回だが月1回に戻ることにはできないのか。仕事をしながら広報を配っているのだが負担が大きい。また、情報量が多く、細かい字を読むのは大変だ。
 - ・広報誌と議会だよりをファイリングしているのだが、穴の位置が違うので、できれば統一してほしい。

2. 議会に対する意見・要望

- ・議員の活動がなかなか見えない。
- ・議員定数は30人くらいいてもよいのではないか。
- ・広報誌と議会だよりをファイリングしているのだが、穴の位置が違うので、できれば統一してほしい。
- ・議会報告会は議員の方々に意見を言える貴重な機会だが、やはり子育て世代の参加は難しいのかなと感じた。どうすればもっと興味を持ってもらえるのか。私も考えていきたいと思う。
- ・議会報告会に参加させていただいて、個人の意見をしっかり聞いていただけると感じた。
- ・本日の参加者4、5名。議会報告会はどうしたら参加者を増やせるのか。私は議員ではないが、もっともっと意見提案をしていきたい。そういう機会はなかなかないので。
- ・議会報告会に参加して大変参考になった。議員諸氏の今後の活躍を期待している。
- ・参加して議員さんと自由に話し合いが出来て良かった。次回も参加したいと思う。

3. 主な意見・要望等〔議会フォーラム分〕

I. テーマにおける声（A～J各グループのまとめより）

テーマ「那須塩原市で必要なまちづくりとは」

A グループ

公共交通であるゆーバスの運行時間の見直しを行い、誰でも気軽に乗れる移動手段にしてもらいたい。また、自然が豊かなまちであり、ホテルなどが鑑賞できる遊歩道整備が必要と考えられる。まちを元気にするために市全体を挙げて若者が中心となったイベントを考えて、世代間交流を図ってもらいたい。イベントは子ども会などを取り込んで自治会の活性化につながればと考える。最後に各世代の居場所がなくてとても寂しいと感じることから、魅力あるスポットをもっともっと増やしてまちが活気づいてほしいと考える。

B グループ

- ・必要なまちづくりにおいて、県北の新都市、那須塩原という考え方を主軸に道路整備や開発による整備を進めることが大切である。一方で、安全安心は、ハード整備だけでは担保されないので、人と人がつながりながら整えるソフト面も同時に整備が必要である。
- ・子育て（子ども）の安全は大前提であり、その上でどのような子育て環境を築くかを考えることが大切である。例えば、保育園のあり方について考えると、本来、健やかに育ってもらうための環境の一つとして保育園があるのだが、両親が働いている間、子どもを預かってもらう施設という考え方になってはいないか。改めて子育ての環境について考える必要がある。

C グループ

- ・合併前の旧行政区間の融合が不十分との意見も多く、解消を図るために行政に期待していることを強く感じた。
- ・空き家や農家の担い手不足等、身近な話題に対して市民が共通して危機感を抱いていることがうかがえる。

D グループ

- ・子育てしやすいまちづくり
保育所や保育士の充実、待機児童ゼロ、母親が働きやすい、公園のアスレチック整備など子どもの遊び場所の充実、大学の誘致など総合的に子育てや教育が充実したまちが期待された。
- ・住んで楽しいまちづくり
テーマパークや音楽フェスティバル、コンベンションシティ、カジノなど住んで楽しいまちをつくってはどうかといった意見が出された。
- ・人材育成のまちづくり
子どもの教育の充実やお祭りや文化芸術の伝承など地域を愛するまちづくりをしてはとの意見があった。

E グループ

自治会、コミュニティの充実、楽しいイベントの開催、子育ての環境整備、高齢者の生きがいづくり、道路などのインフラ整備そして大学や研究所の誘致など様々な意見が出た。空き家やシャッター通りの様なマイナスの要素でもイベントなどにうまく活用していけるのではないかとという前向きな意見があり、明るい未来が浮かんでくるような意見交換になった。

一方、少子高齢化に関してはやはり懸念する声が多く出産や子育て支援と同時に高齢者の居場所の確保など切実な問題に感心が集まった。多世代の市民がうまく交流し合い全ての人に優しい那須塩原市が求められていると感じた。

F グループ

人口問題と環境エネルギー問題に多く意見があった。人口増加のための子育て支援・人づくり支援と企業誘致や、市街通勤者への補助を求める声があり、環境エネルギー問題では、水力やバイオマスの活用の提案があった。

その他リンツ市との交流のあり方、グローバル化に向けた取り組みの必要性についての意見もいただいた。

G グループ

- ・子育ての環境作りの強化とテーマパークを設置して夢のあるまちを期待したい。
- ・定住環境作り・安心・安全なまちで人口減を防ぎたい。
- ・待機児童ゼロを目標にして、安心して働ける環境も必要になってくると考える。
- ・危険な通学路や道路を再整備してもらいたいところが沢山あるので取り組んでいただきたい。
- ・信号機の設置・歩道整備・通学路整備をして安心安全なまちを構築して欲しい。
- ・市の良いところ（自然環境・首都圏に近い・高速道路・新幹線アクセスが良い）
- ・自主防災組織や生きがいサロンの充実を図り見守る。
- ・駅周辺でのイベント開催を期待する。

H グループ

イベントのできる場所、子どもの居場所、高齢者の集う居場所の要望が多かった。

I グループ

- ・地域的に那須塩原駅周辺と新庁舎建設に関する意見が多く、特に駅前に関しては地域住民の期待の高さが感じられる。
- ・将来を担う子どもたちに関する意見も多く、参加者の持続可能な街づくりに対する強い思いが感じられる。

J グループ

- ・まちづくりには、まず、道路整備。車道、歩道、自転車用道路の整備。
- ・観光で那須塩原の商品開発やイベントをつくる。
- ・駅前公園や学生の集まる場所、学習スペースが必要。
- ・那須塩原駅前の整備が必要。

Ⅱ. その他の声

1. 会場でのその他意見・要望

- ・庁舎の周りをシンボルにして、周りの活性化を。
- ・那須野が原博物館に昭和時代と江戸時代コーナーを設けてほしい。文化財の保護に目を向けてほしい。
- ・放射能はどこへ行ったのか、安全宣言するべきでは。
- ・議員の人数を減らしてはどうか。
- ・新しいことを思い切ってやって欲しい。
- ・巻き狩りまつりの充実を期待する。
- ・若者の意見を積極的に取り入れる。
- ・地域の特性を活かした農業の振興を（改めて生乳のPR等）。
- ・市の将来のためにも子どもの貧困対策を充実させてほしい。
- ・議会報告会を年代別で実施してはどうか。

2. アンケート自由記入欄の意見・要望

- ・直接的に多くの方々の考えや思いを聞いたり、自分の思いも話したりできるこのような機会はとてもうれしいことであった。その結果として、全体的によい方向に市が成長していくことが感じられたら、これは最上の幸せである。
- ・フォーラムを継続して開催して欲しい。
- ・とても面白く感じた。引き続き実施されると良いと思う。特に、高校生の参加が良かった。若い人の意見を市政に反映して欲しい。
- ・色々な意見が聞けて良かった。地域により、年代により考えることが違うが様々な意見を生かしてより良い市になってくれればと思う。
- ・とても勉強になった。「考える場」であったと思うので、「行動できる場」もあればと思う。
- ・メンバーにも恵まれ、積極的かつ明るく前向きな意見が。また、ワールドカフェスタイルのお陰か、ワイワイ楽しく出来た。是非、この議会フォーラムであがった意見が、1 つでも市政に取り上げられ、実現となりますように。報告を楽しみにしている。
- ・和やかなムードで話しやすかった。
- ・テーマも決めず、ただ議員のみなさんと時間を気にしないで話ができる場があったらよいと思う。まずはコミュニケーションを作ることから始めてはどうか。議員さんとの話は楽しかった。
- ・議員さんの人柄が垣間見れたのはよかった。
- ・初めて参加したが、大変有意義だった。
- ・新しい試みはとても良いことだと思う。

4. 第11回議会報告会のまとめと考察

今回の報告会を振り返るとともに、アンケート結果等を踏まえ、良かった点、改善すべき点などを整理・考察する。

1. 実施体制について

〔班別実施分〕

常任委員会ごとの3班体制で実施した。

- ・総務企画常任委員会（第1班）
- ・福祉教育常任委員会（第2班）
- ・建設経済常任委員会（第3班）

2. 広報活動について

- ・ポスター掲示依頼（86施設）、チラシの全戸配布、市広報誌（10月20日号）及び議会広報紙（11月5日号）への周知記事の掲載
- ・本庁及び西那須野支所の庁内電子モニターでの周知記事の掲示（11月1日から11月17日）
- ・みるメール（イベント情報）及びなすしおばらファンクラブ SNS による情報配信
- ・各種イベント等でのチラシ配布（産業文化祭、巻狩まつり、なしお博）
- ・議会フォーラムについて、市民活動センター登録団体（個人）へ案内文書を送付
- ・各議員による個別の声掛け（議員1人につきポスター5枚を用意）

3. 当日の進行について

1) 会場設定及び参加者数

○班別開催分については、市内15か所の公立公民館の中から、

- ・西那須野地区1会場（南公民館）
- ・黒磯地区2会場（稲村公民館、鍋掛公民館）

とし、各会場とも同日、同時刻に開催した。

○議会フォーラム分については、東那須公民館を会場とした。

○参加者数は、班別開催分（11月13日）は33名、議会フォーラム分（11月17日）は45名、合計78名となり、5月開催の議会報告会の参加者数を上回る結果となった。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
開催 年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5	H30.11
参加 者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66	78

2) 当日の進行について

〔班別開催分〕

これまでの議会報告会と同様に、議会報告と意見交換会の2部制で行った。意見交換の方式については各班において協議し、決定した。いずれの班においてもワークショップ型の意見交換とし、会場設営については、第1部からアイランド型（島型）で行う班、最初はスクール形式で議会報告を行い、2部の意見交換についてはアイランド型（島型）とする班もあった。

〔議会フォーラム分〕

議会報告委員会において進行等の関係資料を作成し、班会議、議員全員協議会等の場を通じて全議員への周知等を行った。2部制とし、第1部では議会報告を委員長が行い、第2部の意見交換会については、ワールドカフェ方式を採用し実施した。全体の流れについては委員長が説明し、副委員長がファシリテーターを、各グループのホスト役は議会報告委員及び議会運営委員会正副委員長が担った。また、各グループにサブホスト役の議員を置き、ホストのサポートを行った。

会場設営はアイランド型とし、参加者数に合わせて1テーブル5名前後（議員を含む）のグループとして10テーブルを用意した。

3) 意見交換テーマについて

〔班別開催分〕

意見交換テーマについては、今年度までの2年間扱うものとして設定した、班を構成する各常任委員会の所管に関するテーマを、前回に引き続き今回においても扱った。

テーマについては引き続き、

- ・ 1班 「数字から見る協働のまち」
- ・ 2班 「子どもの未来のために」
- ・ 3班 「空き家等の対策について」

とした。

〔議会フォーラム分〕

「那須塩原市に必要なまちづくりとは」をメインテーマとして意見交換を行った。

4) 時間の配分について

〔班別開催分〕

議会報告会全体で2時間のうち

- ・ 議会報告 約30分
- ・ 意見交換会 約1時間30分

とした。

意見交換会1時間30分のうち

- ・ 自班テーマ約1時間
- ・ その他として約30分

とした。

〔議会フォーラム分〕

議会フォーラム全体で2時間30分のうち

- ・議会報告 約10分
- ・意見交換（ワールドカフェ方式による）
説明、休憩、発表を含め 約2時間
- ・その他の意見交換 約15分

とした。

4. アンケート結果について（巻末「5. 資料」のアンケート集計表〔グラフ〕参照）

- ・回答を得た参加者全員が“市内に居住している”と回答した。
- ・年齢構成は10代から70代の市民の参加があった。
- ・開催を何で知ったかについては、各戸配布チラシや広報誌関係が約半数、議員や知人の直接の声掛けが約半数の割合となった。

〔班別開催分〕

- ・参加した理由は、「テーマに興味があった」、「知人・友人から誘われた」が合わせて62%であった
- ・内容について、「わかりやすかった」が58%となり、前回の結果より改善されている。
- ・意見交換会について、「満足」、「ある程度満足」を合わせて92%の高評価を得た。
- ・意見交換のテーマの希望については、幅広い分野に渡って回答があった。

〔議会フォーラム分〕

- ・議会フォーラムの評価について、90%が「評価する」と回答した。
- ・また議会フォーラムが開催されることがあったら参加したいかの問いには、92%の方から「参加したい」または「日程と時間が合えば参加したい」との回答を得た。

5. 市民の皆様からいただいた意見・要望について

今回の議会報告会及び意見交換会でも本報告書のとおりたくさんの意見をいただいた。

- ・今回をもって2年間取り組んできた各班のテーマに基づく意見交換は終了となり、いただいた意見・要望等を元に各班にてまとめを行った。
- ・今回の議会報告会でいただいた意見・要望等については、議会だより（2月20日号）にも掲載をしている。

6. 今後の議会報告会について

〔班別開催分〕

今回の議会報告会においては、前回の反省を活かし、第1部の議会報告のうち定例会報告について、議会報告委員会において取り上げる議案を選定し説明資料を作成した。また、説明の中で、議決の結果が市民の生活にどのように結びついたのかを具体的に示すようにした。

今後も報告についてしっかりと委員会で内容を協議し、市民の関心のある内容を取り上げるよう心掛けたい。

第2部の意見交換会については、各班が設定した班テーマに関して、それぞれの会場で意見交換をした。

会場によって参加人数に差はあったが、設定したテーマについてたくさんの意見をいただいた。今回が、班テーマを設定して行ってきた2年間の最後の意見交換会だったが、参加していただいた市民の方からの意見や要望をしっかりと受け止められたのではないかとと思われる。

〔議会フォーラム分〕

議会フォーラムについては、議会報告会への参加者が減少傾向にあり、また参加者が固定化されつつある中で、新たな参加者を募るために、より議員と市民が同じ目線で話し合える環境を作るべく、委員会全員で協議し実施した。新たな手法として議員全員が一堂に会して、市民と共にテーブルを囲み、ワールドカフェ方式を用いて対話する意見交換会を行った。

結果としては、アンケートへの回答にも表れていたが、市民の評価はとても高かったように思われる。議員との意見交換をしてその人となりを知っていただいたり、同じテーマについて同じ環境で対話を行ったことは、議員への理解と、議会としての取り組みを知っていただけたのと同時に、市民の議会へ対する関心度の向上に大きな効果をもたらせられたと考えられる。

今回の議会フォーラムの開催は、市民の皆様の参加と、全議員及び事務局の協力により実現した。委員会として感謝を申し上げたい。

今後も、この広聴機能に力を注ぎ、多くの市民の意見を聞く場所を設けられるように、鋭意努力していきたい。

議会報告会及び意見交換会において市民の参加が増えていくことは、それだけ行政や議会に関心を持っていただけることにつながるため、これからも議会全体の活動として取り組んでいくことが必要であると考えます。

最後に、今回の結果を受けて、さらに良い結果が得られるように、委員会で協議を重ねて工夫を凝らし、さらに議会への関心を高め、身近に感じていただけるような改善を心がけていきたいと思う。

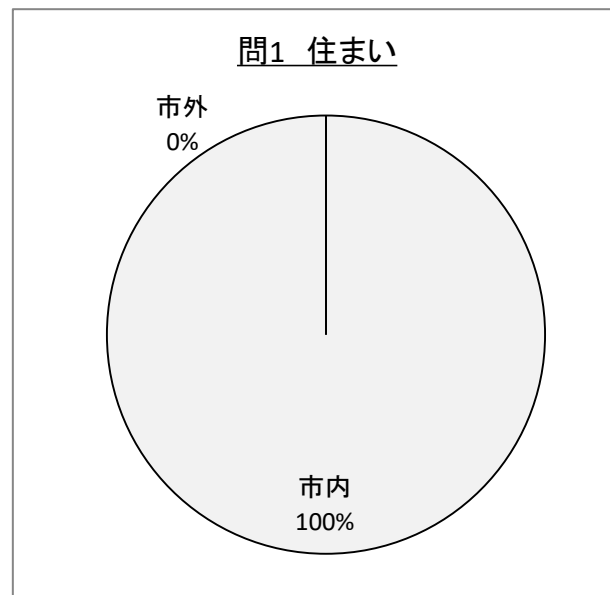
5. 資料

- ・平成30年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕（班別実施分）
- ・各班報告書
- ・平成30年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕（フォーラム分）
- ・各テーブル報告書

平成30年11月13日分 議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕【回収率 78.8%（回答数 26人）】

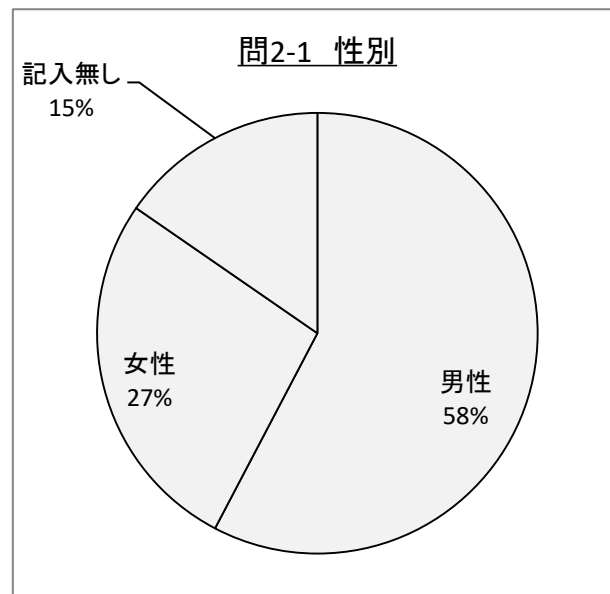
問1 住まい

市内	26
市外	0
計	26



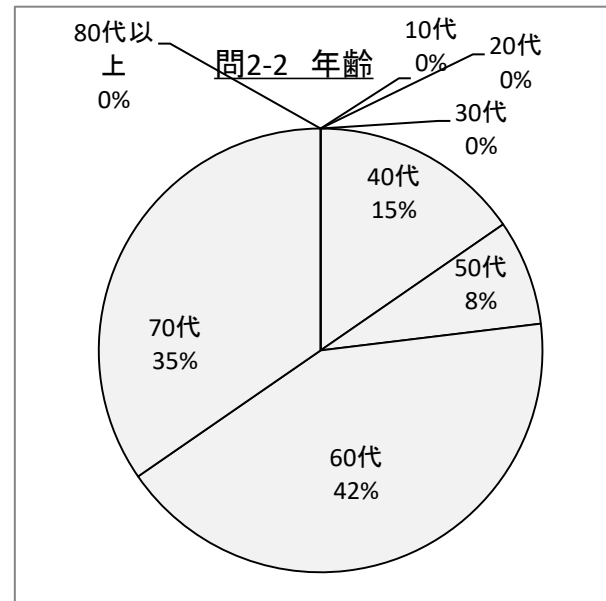
問2-1 性別

男性	15
女性	7
記入無し	4
計	26



問2-2 年齢

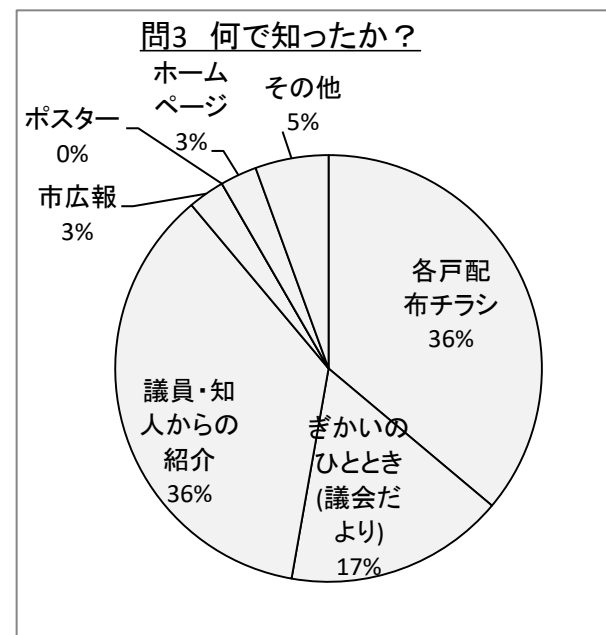
10代	0
20代	0
30代	0
40代	4
50代	2
60代	11
70代	9
80代以上	0
計	26



問3 何でお知りになりましたか。

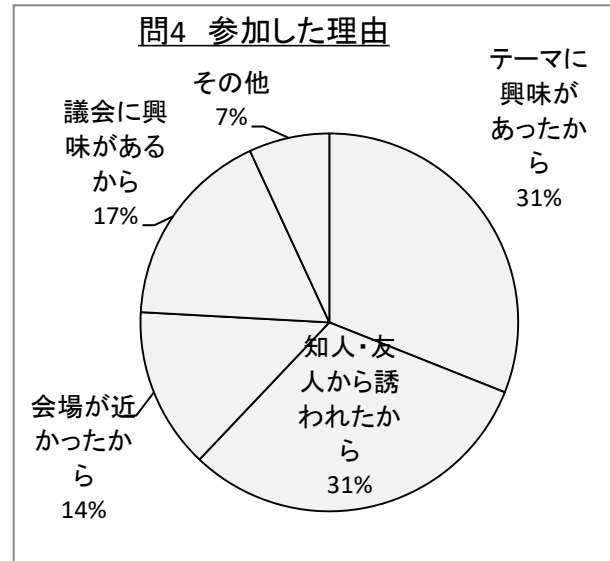
(複数選択可)

各戸配布チラシ	13
ぎかいのひととき(議会だより)	6
議員・知人からの紹介	13
市広報	1
ポスター	0
ホームページ	1
その他	2
計	36



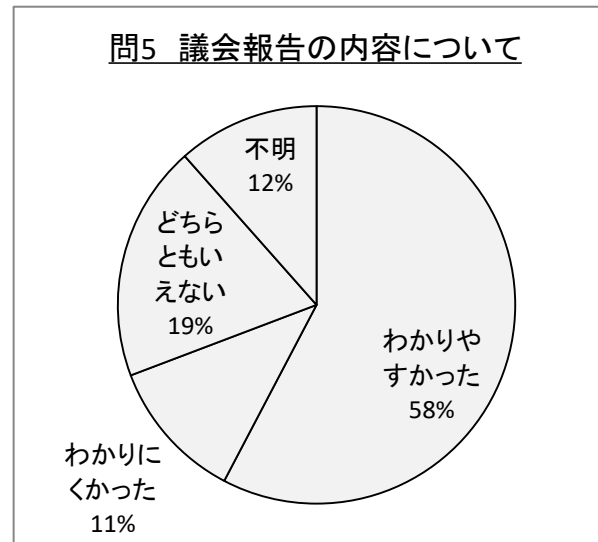
問4 本日参加された理由をお聞かせください。

テーマに興味があったから	9
知人・友人から誘われたから	9
会場が近かったから	4
議会に興味があるから	5
その他	2
計	29



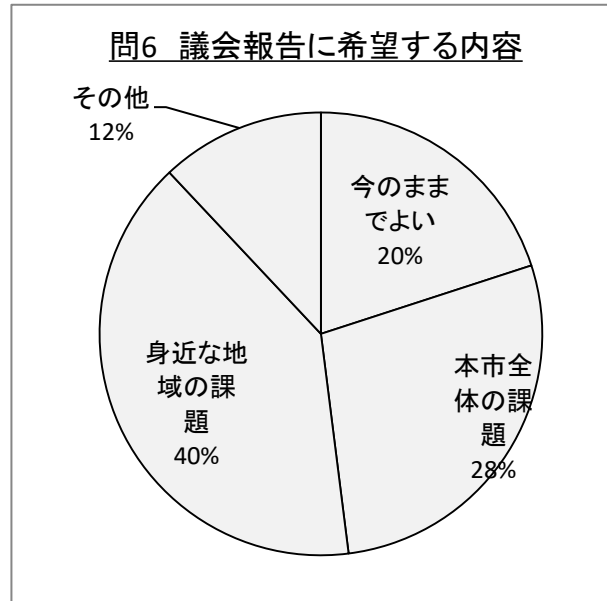
問5 議会報告の内容についてお尋ねします。

わかりやすかった	15
わかりにくかった	3
どちらともいえない	5
不明	3
計	26



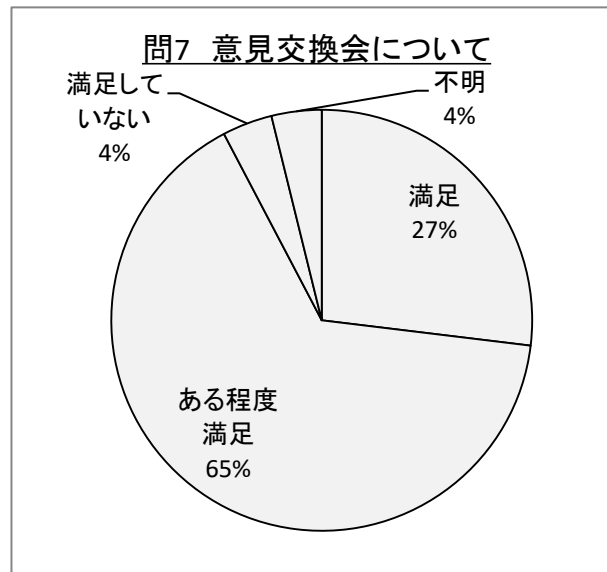
問6 議会報告にはどのような内容を希望しますか。

今のままでよい	5
本市全体の課題	7
身近な地域の課題	10
その他	3
計	25



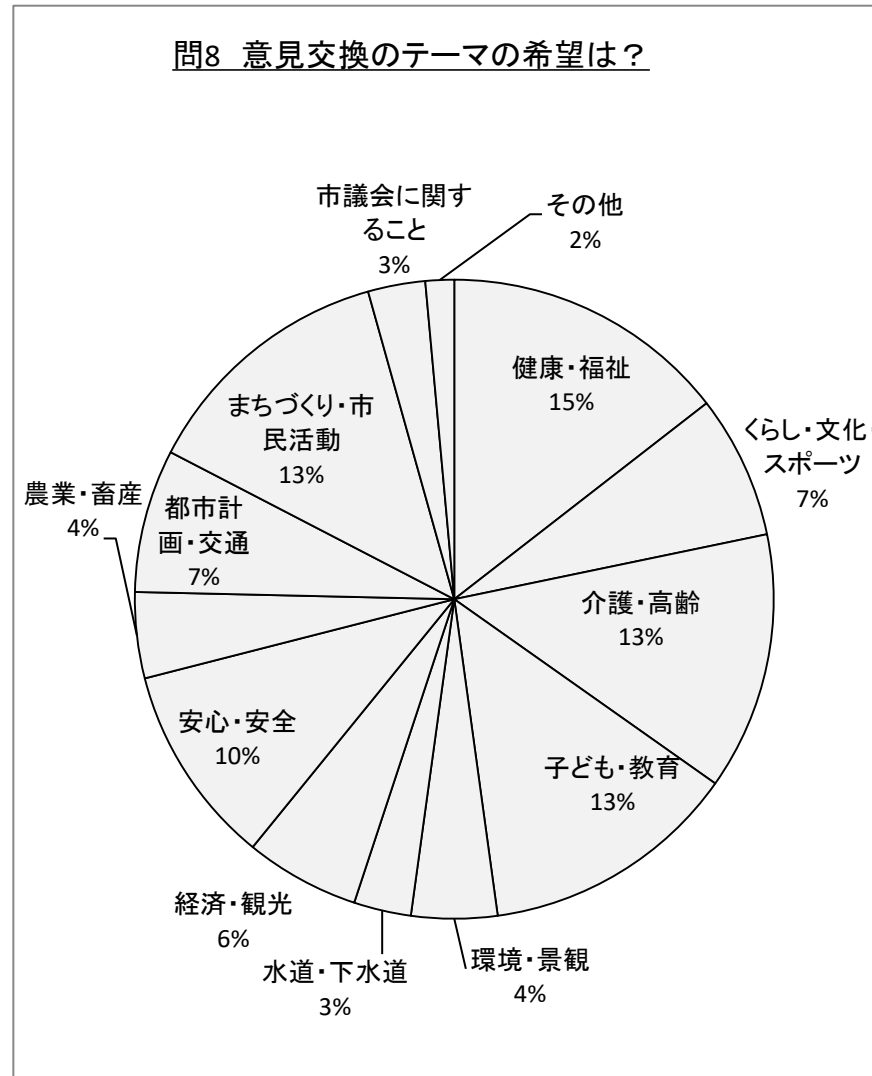
問7 意見交換会についてお尋ねします。

満足	7
ある程度満足	17
満足していない	1
不明	1
計	26



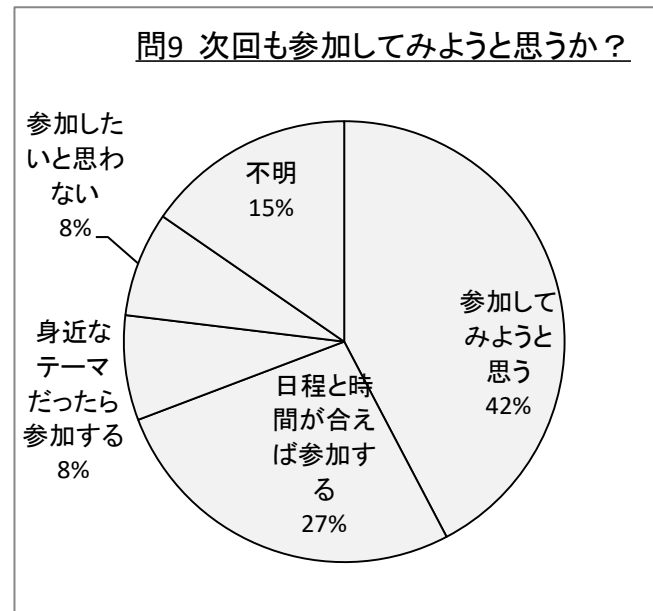
問8 意見交換のテーマの希望
(複数選択可)

健康・福祉	10
くらし・文化・スポーツ	5
介護・高齢	9
子ども・教育	9
環境・景観	3
水道・下水道	2
経済・観光	4
安心・安全	7
農業・畜産	3
都市計画・交通	5
まちづくり・市民活動	9
市議会に関すること	2
その他	1
計	69



問9 次回も“なしおふれあいトーク”に参加してみようと思いますか。

参加してみようと思う	11
日程と時間が合えば参加する	7
身近なテーマだったら参加する	2
参加したいと思わない	2
不明	4
計	26



平成30年11月30日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第1班 班 長 小島耕一
記録者 田村正宏
記録者 森本彰伸

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成30年11月13日（火）午後6時30分～8時30分
2. 会 場 南公民館
3. 担当議員と役割

【担当議員】

齊藤 誠之議員（進行）
吉成 伸一議員（司会）
君島 一郎議員（報告・議会）
吉成 伸一議員（報告・庁舎）
森本 彰伸議員（報告・放射能）
田村 正宏議員（記録者）
小島 耕一議員（記録者）
鈴木 伸彦議員（記録者）
高久 好一議員（記録者）
玉野 宏 議員（記録者）

4. 参 加 者 市民 24人（男性16人、女性8人）

5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり

6. 報告会の運営について
別紙（添付省略）

■第 11 回（平成 30 年 11 月開催）

会場 南 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
定例会 審議結果	① 那須塩原市補助金等審査会条例の制定で、補助金の審査は執行部だけで審査を行うのか、それとも団体の代表なども呼んで意見も聞くのか。 ② 「ゆータク」の 10 月の利用実績を教えてください。	① 審査会が設置されるので、審査会の中で審査の方法も決められています。補助を受けている団体に聞き取りをする事もあるが、全て聞き取りをするわけではなく、収支報告や事業実施報告などで判断し、必要な時に意見を求めることになります。 ② 数字を持ち合わせていないので後日お知らせいたします。（報告済み）
放射能対策 検討特別委員会	報告においては、鈴木先生、坪倉先生共に甲状腺ガンの心配はないとのことですが、本当にそうでしょうか。福島では通常の発生よりも多い甲状腺ガンが報告されています。本当に心配はないと思っているのかご意見を求めます。	報告会では、個人的な意見を述べることはできません。ご意見として承り、今後の委員会活動の参考にさせていただきます。
庁舎建設 検討特別委員会	① 用地費は 97 億に含まれているのですか。含まれていないなら大体の金額は分かりますか。 ② よその庁舎で庁舎内にテナントを入れて家賃収入を得ていると言うのを聞いたことがあるのですが、那須塩原市ではそのような庁舎にすることは出来ませんか。 ③ 庁舎建設特別委員会は庁舎が建設されるまで継続されるのでしょうか。	① 用地費は含まれておりません。金額も現時点では我々にも示されていません。 ② 今年は基本計画を作っています。来年再来年の 2 カ年で基本設計そして実施設計に移っていきます。その基本設計、実施設計の中で、我々特別委員会が様々な提言をしていきます。ご質問のような意見が特別委員会の中でも出ているのは事実ですが、それが反映されるかははっきりお答えする事は出来ません。 ③ 基本的には継続されるものと理解しています。

■第11回（平成30年11月開催）

会場 南 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
班テーマ （ 数字から見る 協働のまち ）	☆自治会活動で感じること 1. 小さなところでは、役員を出すのも大変だ。 2. 子どもの行事が多く若い人が自治会を抜けてしまう。子どもの見守りなどで若い人たちと連携が取れると良いのではないか。 3. 自治会のメリットは助け合いができることである。 4. 防犯パトロールのお返しは自治会に加入してくれること。 5. 三区町は加入が増えているが、四区町は減っている。 6. 班単位で道路清掃を行なっている。 7. 自治会未加入の人たちには、自治会が消防の補助金や防犯灯の電気代を払っていることを理解してほしい。 8. 役にはつけないが、自治会には入っていたいという人がいて、それを認めるようにしている。 9. 自治会で防災訓練をやったり、防災士を推奨しているのに、住民にうまく伝わっていない。 10. 団地などで、そっくり自治会に入っていないところでは、防犯灯が消されているところがある。 11. 自治会に入っていない人はゴミステーションの管理をどう思っているのだろうか。 12. お年寄りが見守りを受けられるのは自治会の大きなメリットである。役は受けられなくてもそういったメリットを与えていくべきである。 13. 自治会に入っていない人ばかりの地域には防犯灯をつけられない。 14. 班の役を受けるのはやはり大変である。 15. 自治会加入者を増やすことができれば、自治会費を下げるのではないか。 16. 以前の報告会で自治会加入推進のパンフレットをもっと工夫して欲しいと意見したが、どう対応したのか知りたい。 17. 自治会に入ってもメリットを受けていない人がいる。入会のメリット、デメリットを明確にするべきである。 18. 自治会加入のメリットが感じられない。	

	19. 高齢になると物理的に行事等に参加できない。 20. 広報は月一でよい。 21. 自治会行事は一度参加するとハードルが低くなり抵抗なく参加するようになる。 22. 自治会に対する補助金の増額を要望する。 23. 市が地域にやってもらいたいことを明確に発表してほしい。 24. 市からの依頼ごとが増加している。 25. 自治会行事は地域の人々が一同に会するめったにない機会、そこから友人の輪が広がる。 26. 集合住宅の住人とのつながりを持つ仕組みがあれば良い。 ☆協働のまちづくりについて 1. 南小では、保護者が子どもの見守りをやっているが、どこを見守って良いのかが分からない。 2. 保護者と地域住民との連携が取れていない。 3. 単発の活動はできても、継続が難しい。コーディネーターがうまく繋いでくれると良いのでは。 4. 子ども110番や、あんしん家は行なっているところとそうでないところで差がある。 5. ボランティアポイントの付与をしてはいいかがか。 6. 二区農地水保全会では道路の草刈りや掃除を行ない花壇づくりも行なっている。 7. 休耕田を使って子どもや高齢者の芋掘りをやっている。 8. 休耕田で蕎麦作りもやっている。保全会のグループホームでのそば打ちは7年くらい続いている。 9. 地区社協と一緒に福祉講演会として生きがいサロンで詐欺防止の寸劇をやっている。(警察にもきてもらっている) 10. 毎月第1土曜日に社協と安心確認として高齢者宅を回っている。90歳以上の人には年一回お祝いをあげている。8年続いている。 11. 若年層が参加しやすい企画を望む。 12. ボランティアのポイント制度の対象範囲を広げてほしい。 13. 老人会と育成会がコラボできる仕組みづくりが重要。 14. 伝統行事の継承が重要。 15. 子育て世代は殆んど共働きなので地域行事に携わる時間がない。	
--	--	--

その他	1. 通学路の側溝に蓋を付けて欲しい。 2. 道路を老人や子どもの目線でチェックして欲しい。 3. 新庁舎は本当に必要なのか疑問である。 4. 札幌の雪まつりみたいな、他市から人を呼べるイベントをやるべき。 5. なしお博で南地区の展示場所が目立たない。 6. 自治会未加入者はゴミステーションの利用を禁止すべき。	
------------	--	--

平成30年12月7日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第2班 班 長 星 宏子
記録者 大野 恭男
山形 紀弘

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成30年11月13日（火）午後6時30分～8時30分
2. 会 場 鍋掛公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】
佐藤 一則（進行役）
星 宏子（司会者）
相馬 剛（報告・議会）
平山 武（報告・放射能）
中村 芳隆（報告・庁舎）
山形 紀弘（記録）
大野 恭男（記録）
金子 哲也（記録）
山本はるひ（記録）
4. 参 加 者 市民 5人（男性5人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
別紙（添付省略）

■第11回（平成30年11月開催）

会場 鍋掛公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
定例会 審議結果	・陳情を不採択にしたが、議会から意見書を出している。採択してもよかったのではないかな。 ・不採択の理由を議会だよりに載せていただければより良いのではないかなと思う。	・自治体が他自治体に出すのはいかがなものかということで、国に意見書を提出しました。
放射能対策 検討特別委 員会	・那須町では小中学生の体内被曝検査を行っているが、那須塩原市では行っているのか。 ・那須町では2年に1回検査を行っている。放射線量も那須町と那須塩原市ではほとんど変わらないので行ってほしい。 ・低線量被曝についていろいろな話を聞くことは良いこと。一般の方にも聞く機会を作ってほしい。 ・高齢者と若い方への影響などハンドブックの中に記載してほしい。	・福島県の平田村、那須町で行っている。
庁舎建設 検討特別委 員会	・駐車スペースに問題があると感じている。少ないので路上駐車が増えるのではないかと心配である。 ・職員にはバス・電車を利用させるという意見だったので現実的なものにしてほしい。 ・入札、落札額は何パーセント位で落札されているのか。	・来客用駐車スペースはしっかり取る予定。公用車については、庁舎北側に確保していきたい。厳しい中ではあるが、検討していきたい。また、駅前なので公共交通を利用してもらいたい。 ・議決しているものは把握しているが、99%もあれば81%もあるかなと思う。社会情勢の中で変わっている。

■第11回（平成30年11月開催）

会場 鍋掛 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
班テーマ （ 子どもの未来 のために ）	「ALTの有効活用」 ・増員してほしい。 ・効率よく活用してほしい。 ・子供たちの評判は良い。 「挨拶について」 ・中学生の挨拶ができない。 「学童保育について」 ・開設時間を長くしてほしい。（お金がかからず） 「スポーツ少年団について」 ・児童数が少ないことから、抜けるに抜けれない。 ・部活動、スポーツ少年団とも学童保育の役割を果たしている。（子供の居場所） 「通学路について」 ・防犯灯が少ない。（自治会の負担が大きいことにより消極的である。） ・凍結防止のために融雪剤の配布を積極的に行ってほしい。 ・除雪対策について小型の除雪機を導入したい場合など、補助を出してほしい。 ・スクールガードの増員を望む。（学校によってばらつきがある。） 「子ども会」 ・地域に子供を戻す。（学校行事が多すぎる。） ・学校と地域の連携が大切である。 ・総合運動会の開催。（学校の運動会と、地域の運動会を同時に開催。） ・第3日曜（家庭の日）の徹底。 ・空き教室を利用してサロンを作ってみてはどうか。	

その他	「議員について」 ・活動がなかなか見えない。 ・選挙にどのくらいお金がかかるかがわからない為に、出たいと思うが出られない。 ・報酬は、歩合制にしてほしい。 ・議員定数は 30 人くらいいてもよいのではないか。 ・議会の傍聴は、仕事中であるため見に行けない。行っている人は、年配の方ばかりだ。 ・任期 4 年ではなく 6 年にして、3 年ごとに半数改選。 「施設について」 ・くろいそ運動場補助球場の整備を行ってほしい。 ・駅前図書館の直営。賛成です。	
------------	---	--

平成30年11月14日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第3班 班 長 中里 康寛
記録者 星野 健二
櫻田 貴久

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成30年11月13日（火）午後6時30分～8時30分
2. 会 場 稲村公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】
松田 寛人（進行役）
齋藤 寿一（司会者）
眞壁 俊郎（定例議会報告者）
相馬 義一（放射能対策検討特別委員会報告者）
伊藤 豊美（庁舎建設検討特別委員会報告者）
中里 康寛（記録者）
星野 健二（記録者）
櫻田 貴久（記録者）
4. 参 加 者 市民4人（男性3人、女性1人）
5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり
6. 報告会の運営について
別紙（添付省略）

■第11回（平成30年11月開催）

会場 稲村 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
定例会 審議結果	①9月定例会の中で、市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について具体的な内容と否決となった理由を伺う。	①日本下水道事業団と黒磯水処理センター新管理棟建設工事委託契約で、2,000万円以上の案件については、本来議決が必要であったが、議決を経ておらず契約は無効の状態で、追認議決を求める議案であった。下水道事業農の追認議決を行った責任として、市長及び副市長の給料を10%減額するものだが、給料の減額で解決する事案ではなく、「意識の改革」、「チェック体制のマニュアル」など、「改善案を議会に示し、開かれた市政運営の取り組みをもって責任を果たすべきことから否決となった。
	②6月定例会の地域公共交通再編計画について、関谷のアグリパルまでは、ゆーバスを利用することができるのだが、その先から夕の原まで、ゆーバスが運行していないために三依へ行くことができない。後期高齢者は不便を感じている。なぜ、運行しないのか理由を伺う。	②その区間は、JRバスが運行しているため、運行しないことになっている。
	③JRバスで運行しているため、ゆーバスが運行していないことは理解できたが、なぜゆーバスではなくJRバスが運行しているのか理由を伺う。	③その事案については、詳しい経緯や理由が分からないので、後程回答させて頂きたい。（回答済み）
	④要望として、その区間においても、利便性の観点からゆーバスで運行して頂きたい。	④要望として、お受け致します。

放射能対策 検討特別委 員会	①坪倉医師のお話の中で、自然放射線による年間被ばく量のスライドでは、スウェーデンとフィンランドの被ばく量が多いが、それは本当なのか伺う。 ②原発事故による土壌汚染があった中で、本市のいろいろな地域に太陽光発電設備一般家庭用、メガソーラー)の建設が予定されている。農家の立場として、水源はとても大切な資源で、本市ではその水源を守ることに対して、どのように考えているのか伺う。 ③本市の森林や農地などが、今後メガソーラーの建設地となることに懸念しているのだが、市では関知していないとのことで、しかしながら今後メガソーラーがたくさん建設された場合には大丈夫なのか。	①このデータについては、坪倉医師が持っているもので、私たちが調査したものではございません。 ②再生可能エネルギーについては、以前は本市も推進していましたが、現在は、一般家庭用の太陽光発電設備の補助金などは支給しておりません。また、メガソーラーについては、本市では関知しておりません。 ③国と市ではガイドラインが策定されている。また、ご意見として、お受け致します。
庁舎建設 検討特別委 員会	なし	なし

■第11回（平成30年11月開催）

会場 稲村 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
3 班テーマ （ 空き家等の 対策ついて ）	①市営住宅（若松団地）は、空き室が多く、約20%が空き室となっている。理由を問うと、1つは居室設備が古いので若い人は入居しないと言っていた。また、保証人の規約が厳しいため、入居したい人が入居できない。保証人規約を緩和することはできないのか。 ②黒磯駅前（板室街道）付近には、空き家が多く、ゴーストタウン化している。一方で、板室街道を上がっていくとSHOZOの店が街道沿いに増えていて、雰囲気とか、このままで良いのか悪いのか。板室街道を元気で明るい街にしたい。 ③板室街道は街灯が暗い。また、板室街道では何か取り組みなどはないのか。	②現在、立地適正化計画というのを国で進めていて、本市も計画を策定したところです。それは、駅から半径800m以内に住んでくださいというもので、歩ける範囲に病院や学校などがあると行政にとって効率が良いという考え方がある一方で、そんなのは聞いてられないという方もいらっしゃると思います。観光や先程の板室街道の活性化のお話しは、また別の視点から考える必要があるのかなと思います。 SHOZOさんは、カフェの成功事例として全国から視察に来ている。また、リノベーションと言って、空き店舗を借りあるいは買い、リフォームをして、若い人たちに貸し、商売をしてもらう取り組みがある。 ③明るい話しをすれば、現在アートを活かしたまちづくりというのを進めていて、板室街道に奈良さんの美術館が建設されたり、明るい取り組みが始まっている。

	④以前、空き家の調査があったのだが、その後どのようなになったのかわからない。 ⑤空き家問題は、自治会でも困っているのだが、自治会レベルでは解決できない。何らかの、法的な強制力が必要ではないか。今の状況では、対策には時間とお金がかかる。 ⑥今日は、空き家問題がテーマとなっていたので、私たちより、良いアイデアが聴けると思ってここへ来た。 ⑦空き家の有効活用として、SHOZOさんのような商売をするなどの活用もあるが、高齢者福祉の場として、例えば100歳体操や高齢者の生きがいや集まれる場としても活用できるようにしてほしい。できれば自治会で空き家を借りて、活用したいし、その場合に補助金制度があるなど、環境を整備してほしい。 ⑧空き家となっている建物は、管理するあるいは取り壊すのにお金がかかるので、市に寄付したい人もいます。しかしながら、市では断る。 ⑨国の法整備が進まないと、空き家問題は解決に向かわない。	④本市の空き家は3,000件以上あり、その中で中古住宅として売れるものもあるのだが、それは民間企業で扱い、商品として売れづらいものが市で扱う現状がある。 ⑥市では、空き家バンクという取り組みをするにあたって、宅建協会と連携を組んでいる。 空き家は、更地にすると税金がかかる、また取り壊すのにもお金がかかるため、取り壊しがなかなか進まない現状もある。 ⑦子ども居場所づくりであったり高齢者の居場所づくりであったり、とても良いご意見だと思います。 市では、福祉・教育・商工・観光・工業と上手く連携をしながら空き家対策をやらなければならないという話になっているが、国の法整備（相続など）が整っていないために、なかなか進まず、市の条例だけでは対応ができない現状もある。 ⑧現在、市でも所有していても管理などにお金がかかるので、手放している。 ⑨空き家は、利用できる数より、増えていく数の方が多い。特定空き家へ認定するまで、手続きが多く時間もかかる。
--	---	---

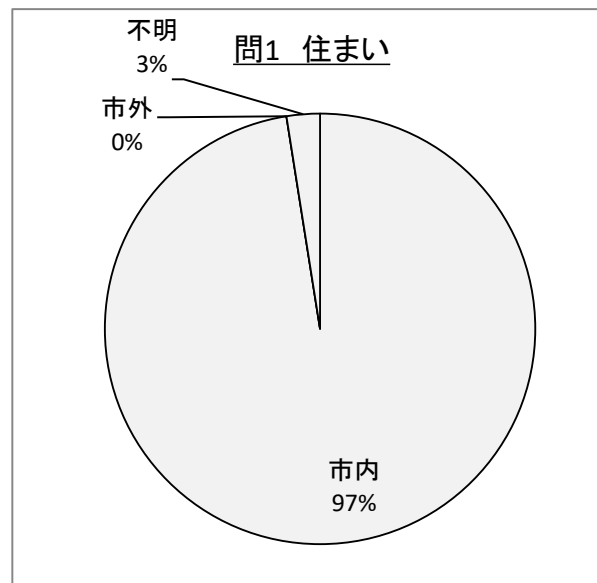
	⑩京都や奈良では、若い人に空き家を活用（商売）してもらおう全国へ情報を発信しているのだが、本市ではそのような情報を全国へ発信しているのか。 ⑪現在は、住宅地域の空き家が多いのか、あるいは商業地域の空き家が多いのか。 ⑫空き家問題は、突き詰めていくと人口減少が原因ではないか。 ⑬要望があります。一軒家の市営住宅（空き家）ですが、強風の影響で屋根が飛ばされそうになっていて非常に危険なので対応してほしい。	⑩チャレンジショップなどの取り組みもあるが、補助金が打ち切られるとやめてしまう現状もある。 あとは用途地域というものもあって、戸建ての空き家など住宅街では商売ができない。 ⑪データを見ると7割は戸建て住宅ですね。
その他	①住宅地に囲まれている私有地（山林）の樹木が倒れそうになっていて、防犯灯に樹木が覆いかぶさっていて危険です。山林の所有者に連絡を取ったが、対応せず困っている。生活課にも相談したが、強制力がなく解決に至っていない。市で何らかの対応してほしい。 ②自治会の後継者問題について悩んでいる。市に相談したのだが、自治会のことだから自治会で解決してくださいと言われるだけで、相談に乗ってくれない。その割に市から自治会に来る仕事が多すぎる。市が頼りにしてくれるのはうれしい部分もあるが、自治会は市の末端組織ではない。自治会長によっては、自治会の後継者問題がある中で、仕事が多く、負担が増えていくばかりで、やりがいを感じない。 ③市の広報について、現在は月2回だが月1回に戻ることとはできないのか。私は仕事をやりながら、広報を配っているのだが負担が大きい。 ④市の広報誌について、情報量が多いと思う。細かい字を読むのは大変だ。 ⑤広報誌と議会だよりをファイリングしているのだが、穴の位置が違うので、できれば統一してほしい。	①条例の制定が必要なのではないかな。 ③広報を受け取る側は、情報があって良いと思う、一方では配る方の負担が大きい。

	⑥赤い羽根や緑の羽根について、妻と一軒一軒配っているが、羽根を付ける人はいない。また、班によっては広報誌と一緒に羽を回すのだが、羽根を誰も受け取らず、班長へ戻ってきてしまっている。市役所へ行っても職員すらつけていない。羽根ではなく、一年間使えるクリアファイルとかにしてみても如何か。	
--	--	--

平成30年11月17日議会フォーラム分 アンケート集計表〔グラフ〕【回収率 88.9%（回答数 40人）】

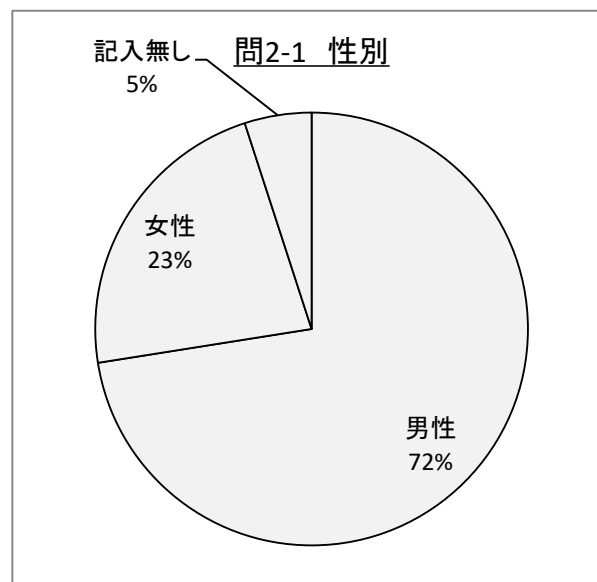
問1 住まい

市内	39
市外	0
不明	1
計	40



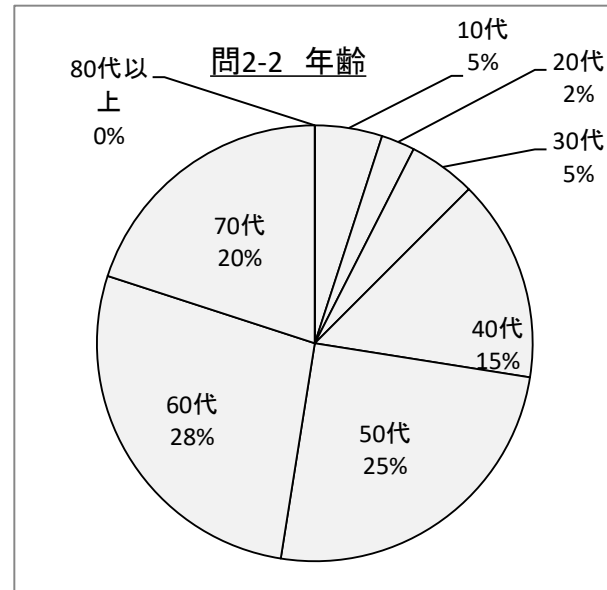
問2-1 性別

男性	29
女性	9
記入無し	2
計	40



問2-2 年齢

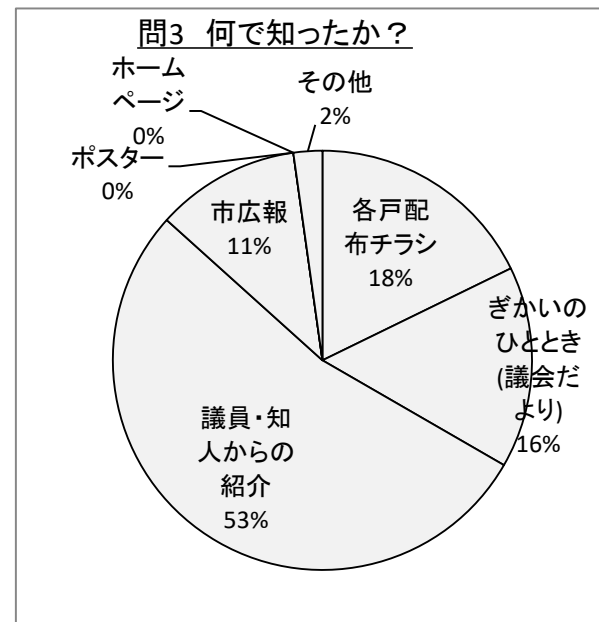
10代	2
20代	1
30代	2
40代	6
50代	10
60代	11
70代	8
80代以上	0
計	40



問3 議会フォーラムは何でお知りになりましたか。

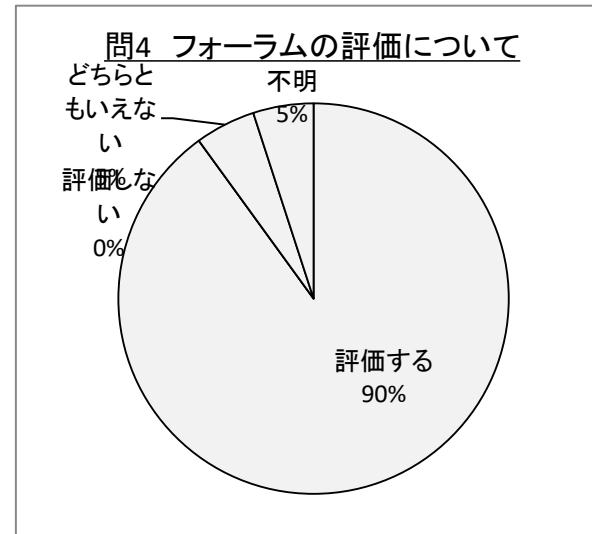
(複数選択可)

各戸配布チラシ	8
ぎかいのひととき(議会だより)	7
議員・知人からの紹介	24
市広報	5
ポスター	0
ホームページ	0
その他	1
計	45



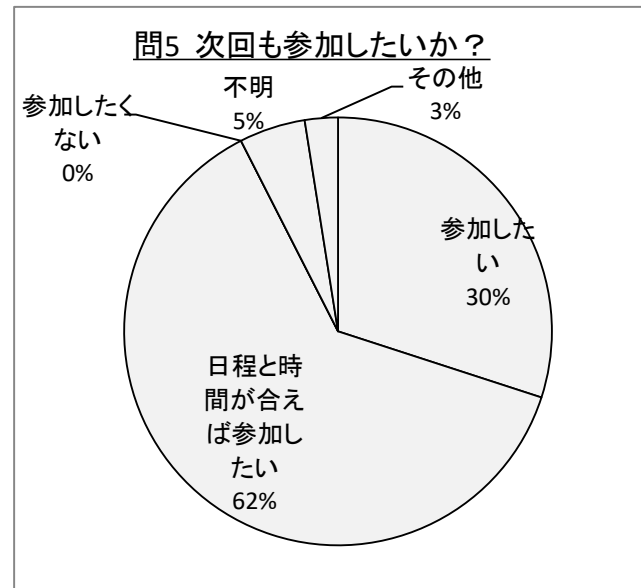
問4 議会フォーラムの評価についてお尋ねします。

評価する	36
評価しない	0
どちらともいえない	2
不明	2
計	40



問5 また議会フォーラムが開催されることがあったら参加したいですか。

参加したい	12
日程と時間が合えば参加したい	25
参加したくない	0
不明	2
その他	1
計	40



■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で 必要なまちづ くりとはどの ようなものか	バスの便数(学校近く)が少ないため、乗り遅れる事があり遅刻してしまう。 街灯が少なく危険で怖い。 通学路の整備で安全に通学したい。 健康で医療費が掛からないまちづくり 魅力的なスポットが欲しい。 高齢者の居場所・世代間交流・大型書店が欲しい。 イベント集中させて若い人が中心となった歌や踊りを取り入れてもらいたい。	
他の参加者の 意見をきい て、さらにど んなことを感 じたか	通学路の除雪 街灯の市有化 コミュニティバス(地区)デマンド等	
具体的にどん なことができ るか、したい か	バスの運行の見直し 除雪機の一部補助金を出してもらいたい。 健康体操の導入。 街灯設置における負担体制を見直し考えて欲しい。	

まとめ	公共交通であるゆーバスの運行時間の見直しを行い、誰でも気軽に乗れる移動手段にしてもらいたい。また、自然が豊かなまちであり、ホテルなどが鑑賞できる遊歩道整備が必要と考えられる。まちを元気にするために市全体を挙げて若者が中心となったイベントを考えて、世代間交流を図ってもらいたい。イベントは子ども会などを取り込んで自治会の活性化につながればと考える。最後に各世代の居場所がなくてとても寂しいと感ずることから、魅力あるスポットをもっともっと増やしてまちが活気づいてほしいと考える。	
その他	栃木市の新庁舎は良い 新庁舎は診療所・病院を入れて欲しい。 庁舎の周りをシンボルにして、周りの活性化 テーマパーク化 庁舎はワンストップ化 人口増よりも住みやすいまち 那須塩原市の戻れる魅力的なまち 若い人がキラキラしたまち 雇用が多く住みやすいまち 人柄が良いまち 特別なまちではなくてもいい。	

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で 必要なまちづ くりとはどの ようなものか	新庁舎について 1. 那須塩原駅前がさみしい 2. 那須塩原市役所の整備 3. 箱物ではなく中身の充実、また人材育成も 道路について 1. 新庁舎へのアクセスも踏まえ都市計画道路の整備 2. 都計道3・3・2号線の早期着工 3. 信号機の整備（沓掛3丁目交差点） 4. 役所予定地に相応しい道路整備、交通安全対策が先 自治について 1. 子どもも高齢者ものんびり暮らせる地域づくり。話し合い支えあえる活動から始められる 安全対策について 1. 防災、防犯 2. 防災のまちづくりを進める議員も防災士に 3. 防災士連絡協議会をつくる 4. 駅前交番の人について、当地区の地理に詳しい人を 5. 各地区避難所で避難訓練を自治会、市、学校と合同でやる 子どもについて 1. 子ども会の活性化、子どもが主役の子ども会に 2. 子ども会は、小学生の部、中学生の部、高校生の部をつくる 3. 学校にあるスポーツ少年団をやめ、地域団にする 4. 青年の視野を拓げるために、市単で国内外研修実施 5. 公の青年学級、教室を復活し、異業種青年の出会いの場をつくる 6. 子供の居場所、家の中でゲームをしている子供たちが出ていきたくなる場所を 7. 子育て中の親子が笑顔になれるような、子どもを連れて出かけられる場所をつくる 環境について 1. 雑木林がなくなり心配、緑を残すまちづくりを	

他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	新庁舎について 1. 新庁舎建設に併せ、駅周辺の大開発を 2. 新庁舎の清掃を市役所職員がやるべき 3. 市役所において縦割りではなく横のつながりを 道路について 1. 道路整備計画は市を越えて広域連携で 2. 安全安心もハード整備だけでなくソフト整備も大切 人と人がつながることで事故も防げる 自治について 1. 世代間の交流がない、人と人が交流するまちを 安全対策について 1. 子どもの安全対策の情報化 2. 街灯が足りない 子どもについて 1. 子どものあそび場が必要 2. 那須塩原で育って良かったと思える子育て環境を 3. 若い人たちが自ら考え行動する環境を	
具体的にどんなことができるか、したいか	新庁舎について 1. 各施設の連携は重要 2. 東那須野に図書館をつくる 安全対策について 1. 街灯（防犯灯）の直営化 子どもについて 1. 保育園の縦割りをなくす その他 1. ゆーバスの一体化 2. 明治遺産も大切だが昭和の遺産も価値あるので大切	
まとめ	1. 必要なまちづくりにおいて、県北の新都市、那須塩原という考え方を主軸に道路整備や開発による整備を進めることが大切である。一方で、安全安心は、ハード整備だけでは担保されないので、人と人がつながりながら整えるソフト面も同時に整備が必要である。 2. 子育て（子ども）の安全は、大前提であり、その上でどのような子育て環境を築くかを考えることが大切である。例えば、保育園のあり方について考えると、本来、健やかに育ってもらうための環境の一つとして保育園があるのだが、両親が働いている間、子どもを預かってもらう施設という考え方になってはいないか。改めて子育ての環境について考える必要がある。	

その他	1. 職員と議員は、ゆーバスを使って通勤してみてもどうか。メリットとデメリット等を考えてほしい。400円で市内を一周できないと、ゆーバスじゃない。JRバスを使うと1,000円以上かかる。 2. 那須野が原博物館に昭和時代と江戸時代コーナーを設けてほしい。文化財の保護に目を向けてほしい。	
------------	---	--

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で必要なまちづくりとはどのようなものか	●農家の担い手不足対策が将来のまちづくりに大きく影響する ●耕作放棄地の増加が将来のまちづくりに大きく影響する ●塩原地区がかつてのにぎわいを取り戻せば市全体への波及効果大きい ●リンツ市との交流を拡大することがまちづくりにも影響を与える ●交通が不便な地域を解消することで地域間の有機的な連携が生まれる ●公共施設が合併前の市町の運営方法を踏襲しており共通化すべき ●新庁舎へのアクセスルートの整備が重要、特に大田原方面からの	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか 具体的にどんなことができるか、したいか	●コンパクトシティーは理解できるが、広範な地域を要する本市において実現可能なのか ●旧行政区を意識させない統一感が必要 ●将来のまちづくりのためには空き家対策に真剣に取り組む必要あり ●市内各地の伝統文化等を通じて市民の交流を活発化する必要あり ●移住促進のPRが不足しているように感じる ●市内の他地域の祭り等にも積極的に参加する ●周辺市町（特に大田原）との連携を活発化させることで街のにぎわいが増す ●新庁舎を含めた那須塩原駅周辺の整備事業は将来のまちづくりにとって影響が大きい、是非、期待通りのものにしてほしい	

まとめ	●合併前の旧行政区間の融合が不十分との意見も多く、解消を図るために行政に期待していることを強く感じた。 ●空き家や農家の担い手不足等、身近な話題に対して市民が共通して危機感を抱いていることがうかがえる。	
その他	●放射能はどこへ行ったのか、安全宣言するべきでは ●大田原や那須町に比較してあらゆる面でPRが少ない ●ジビエ安全宣言を出し観光客誘致をはかる	

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で必要なまちづくりとはどのようなものか	・ 人材の育成が重要であり、郷土芸能で子どもたちを指導している。補助の充実をするべき。 ・ 高齢化が進んで、運転免許の返納が進められているが、車がないと活動できない。ゆーバスの運行経路がわかりづらいので改善してほしい。 ・ 子どもの遊び場所に困っている。箱の森の施設も古く悪くなっており、烏ヶ森のアスレチックも使用できなくなっている。公園整備が必要。 ・ 職を持たないニートが増えている。ニートのフォローをするべきだ。 ・ 広大な土地を利用して音楽フェス、コンベンションセンターを設置。テーマパークを設置してほしい。移住定住者の増加を進める。 ・ 観光をもっと盛り上げるべき。名産品をつくって駅で販売してほしい。 ・ 商店街がシャッターで閉まっている。活性化が必要。 ・ 大学の誘致を行い、若者が住む街にしてほしい。 ・ 自治会の交流を活発化させるべきだ。 ・ 森林が開発されてなくなっていることから、森林の保護をするべき。	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	・ 人口減少が始まっているので、対策が必要。 ・ 子育て対策の充実をすべき。待機児童の対策が必要。 ・ 子どもを中心としたイベントを開催してほしい。 ・ 出生率を上げる対策が必要。格差社会になっており、家庭環境に差があることから、支援が必要。貧困対策が必要である。 ・ 保育士や保育所など子育て環境の充実が必要。 ・ 市の政策は平均的な政策で特徴がないのでは。 ・ 今までやってきたからやるといった保守的な政策や事業が多いのでは。 ・ 経済的な観点から企業誘致が必要である。	

具体的にどんなことができるか、したいか		
まとめ	○ 子育てしやすいまちづくり 保育所や保育士の充実、待機児童ゼロ、母親が働きやすい、公園のアスレチック整備など子どもの遊び場所の充実、大学の誘致など総合的に子育てや教育が充実したまちが期待された。 ○ 住んで楽しいまちづくり テーマパークや音楽フェスティバル、コンベンションシティー、カジノなど住んで楽しいまちをつくってはどうかといった意見が出された。 ○ 人材育成のまちづくり 子どもの教育の充実やお祭りな文化芸術の伝承など地域を愛するまちづくりをしてはとの意見があった。	
その他	・ 議員の人数を減らしてはどうか。 ・ 西那須野地区の阿久津整形外科の前の道路がせまくて、自転車等危ないので直してほしい。 ・ ホームスタート事業のオーガナイザーの支援をしてほしい。 ・ 子ども食堂や子供保育が変わってきている。支援をしてほしい。 ・ 議員は何ができるのか教えてほしい。	

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で必要なまちづくりとはどのようなものか	● 自治会にも特性があるのでそれぞれ特性を活かしたまちづくりが必要。 ● イベントが少ないので、地域ごとに増やしていくと良い。 ● コミュニティを早急に充実して欲しい。 ● お年寄りばかりが参加する自治会ではなく、出来るだけ若い方を中心に考えた自治会であるべき。 ● 人と人が助け合えるまち。 ● 学生の活動が活発なまち。 ● 地域の特性を活かして農業を振興する。 ● 老人が元気に暮らせるまちづくり。 ● 障害者への対応の進んだまち。 ● 子どもの居場所の確保。 ● 子どもが増える政策が必要。 ● 子育てへの援助を求める。 ● 安心して子どもを産める市であってほしい。 ● 家庭環境に左右されない教育を受けれる街であって欲しい。 ● 計画的なまちづくりを求める。 ● 必要な道路がしっかり整備されたまち。 ● 新庁舎へのアクセスを考えて欲しい。 ● 歩道や防犯灯を整備してほしい。 ● 防犯灯の管理は市でやって欲しい。 ● 子どもたちが安全安心な道路の整備をしてほしい。	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	● 他県から人が集まるような大きなイベントがあると良い。 ● イベントは今までやってきたから継続するのではなく、本当にそれで良いのか振り返りをするべき。 ● 長寿の湯が来年3月に再開できると聞いて嬉しい。 ● 都会から移住してきた人でも溶け込めるまちであってほしい。	

具体的にどんなことができるか、したいか	● 各自治会、人口などの統計を分析してみると良い。 ● 自治会の枠組みにとらわれず、目的ごとに集まり、街コン、音楽フェス、写真コンクールなどを開催する。 ● 空き家をうまく利用してのイベントを開く。 ● 軽トラ市をやってほしい。 ● シャッター通りを活用して婚活イベントをやってはどうか。 ● 保育園にもっとお金をかけて欲しい。 ● 認知症への対応の充実。 ● 高齢者の居場所づくり。 ● 不要な公有地の売り払いを進めるべき。 ● 必要なところに必要な信号がない所がある。信号の整備をしてほしい。 ● 子どもたちへの交通安全教室を充実させ、親や祖父母に交通ルールを守ってくれるように言ってもらおう。 ● 子どもやお年寄りが安心して暮らせる交通マナーが良いまちを目指す。 ● 共和大学のキャンパスに様々な大学や専門学校の教室の一部に来てもらう。 ● 市内に、総合大学や最先端の医学研究所などを誘致してアカデミックなまちを目指す。 ● インバウンドの推進。	
まとめ	E 班では、自治会、コミュニティの充実、楽しいイベントの開催、子育ての環境整備、高齢者の生きがいづくり、道路などのインフラ整備そして大学や研究所の誘致など様々な意見が出ました。空き家やシャッター通りの様なマイナスの要素でもイベントなどにうまく活用していけるのではないかという前向きな意見があり、明るい未来が浮かんでくるような意見交換になりました。 一方、少子高齢化に関してはやはり懸念する声が多く出産や子育て支援と同時に高齢者の居場所の確保など切実な問題に感心が集まりました。多世代の市民がうまく交流しあい全ての人に優しい那須塩原市が求められていると感じました。	
その他		

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で必要なまちづくりとはどのようなものか	● 国際化が進むまちには明るい未来がある。 ● インバウンド政策の推進 ● リンツ市との交流について中学生だけではなく大人も交流できる仕組みを作るべき。 ● スポーツ・文化に力を入れて欲しい。 ● 日本の伝統文化を日本人としてみんなに知って欲しい。 ● 人口の増加を目指し、企業の誘致を進めて欲しい。それに伴い道路の整備も必要。 ● 環境エネルギーの活用を進める。水力やバイオマスなど。牛糞も再利用して欲しい。 ● 子育てしているお母さんたちが楽しく情報交換できる場所があると良い。 ● 給食を食べてみたい。大人が試食する場を作って欲しい。 ● 那須塩原市から他市に通勤している人たちに補助を求める。 ● シャッター通りがないまち。 ● 防犯灯を増やして欲しい。 ● 学生が活動できるまちにする。 ● 自治会活動をきめ細やかに推進する。 ● 市役所の開庁時間を毎日長くして欲しい。	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	● 企業誘致に、道路整備が不十分である。 ● 子育ては人間を育てること、引きこもりやニートをフォローしているのか。労働力の確保にも必要。 ● 国際化、グローバル化は必要。（観光立国、インバウンド）	

具体的にどんなことができるか、したいか	● 市政懇談会を年４回くらい開いて欲しい。 ● 市役所職員の中で本気でリンツとの国際交流を考える職員を育てて欲しい。 ● 子どもの安全のため、防犯灯を増やして欲しい。 ● 新しい作物の開発。 ● 市民サービス向上のため、市役所の開庁時間を延ばして欲しい。 ● 市内イベントの見直し。	
まとめ	F 班では人口問題と環境エネルギー問題に多く意見があった。人口増加のための子育て支援・人づくり支援と企業誘致や、市街通勤者への補助を求める声があり、環境エネルギー問題では、水力やバイオマスの活用の提案があった。 その他リンツ市との交流のあり方、国際化グローバル化に向けた取り組みの必要性についての意見も頂いた。	
その他	● 本日出てきた意見を議員間で話し合ってもらい、執行部に提案して欲しい。 ● 議員定数の削減も考えて欲しい。 ● 定住、地方創生を５年計画で行なっているが見直しをしているのか。 ● 新しいことをおもいきってやって欲しい。 ● オリンピックキャンプ地誘致の話をはほとんどの市民が知らない。駅に看板をつけるなど周知活動をおこなうべきだ。	

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市 で必要なまちづくりとはどのようなものか	子育てしやすい環境作り 高齢者の孤独死の防止策を考える 市役所の組織の再編（縦割り行政）の改善 情報発信力の強化を図ってほしい 安全安心な通学路の確保のために街灯の設置強化 企業誘致してまちの活性化と雇用問題を解決してもらいたい。 歩道の再整備・通学路の再整備 テーマパークを設置して若者に来てもらい賑わいが望んでいる。 大型商業施設の誘致を望んでいる。	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	出産しやすい環境整備を考えてほしい。 待機児童ゼロを目指して欲しい。 安心・安全・環境の良さをアピール不足している。 市の良さを再確認した。 首都圏からのアクセスの良さを強調すべきである。 互助の精神が足りない。 健康体操を導入して健康作りを見直してもらいたい。	
具体的にどんなことができるか、したいか	子どもや高齢者のために既存施設・公園の再整備 全自治会に見守り組織作りの強化をする。 電柱の地中化した時の分電ボックスの有効活用。 健康体操のPR活動強化。 市あげてのPR活動強化。	

まとめ	子育ての環境作りの強化とテーマパークを設置して夢のあるまちを期待したい。 定住環境作り・安心・安全なまちで人口減を防ぎたい。 待機児童ゼロを目標にして、安心して働ける環境も必要になってくると考える。 危険な通学路や道路の再整備してもらいたいところが沢山あるので取り組んで頂きたい。 信号機の設置・歩道整備・通学路整備をして安心安全なまちを構築して欲しい。 市の良いところ（自然環境・首都圏に近い・高速道路・新幹線アクセスが良い） 自主防災組織や生きがいサロンの充実を図り見守る。 駅周辺でのイベント開催を期待する。	
その他	発酵食品の開発（ヨーグルト・味噌等） 巻き祭りまつりの充実を期待する。 歴史的遺産を活用して回廊づくり(源三窟・逆杉・那須野が原博物館・青木別邸・旧松方別邸) 若者の意見を積極的に取り入れる。	

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で必要なまちづくりとはどのようなものか	1. 音楽を中心にしたフェスティバルを 2. 若者を含む総合的な集まりを（例、那珂川河畔公園でジャズフェスティバル等） 3. コンベンションセンターをつくる 4. 子どもたちが発表できる場を 5. 若い人たちの意見が聴きたい、話したい（PRが足りない） 6. 花火大会に対して西那須野にはPRがない 7. 特徴のあるストリートを	
他の参加者の意見をきいて、さらにどんなことを感じたか	1. イベント広場の整備が必要（音楽・物販・その他のイベント場所） 2. 市の一体化のために何としてもイベントを（一体化のためにイベントが必要） 3. 全国から人が集まるようなイベントを 4. 待機児童ゼロを 5. 子どもが元気に遊べる場所を（雨が降っても大丈夫なように） 6. 小中高生が集まれる場所を 7. 子ども・高齢者の居場所づくり 8. 孤独死を出さないまち 9. 認知症対策を 10. 市役所の縦割りをなくす	
具体的にどんなことができるか、したいか	1. 那珂川河畔公園でジャズフェスティバル 2. 緑を残した計画的な都市づくり（道路及び歩道、公園、街灯、住宅） 3. 駅前広場で週末等、定期的にイベントを開催せよ	

まとめ	イベントのできる場所、子どもの居場所、高齢者の集う居場所の要望が多かった	
その他	1. 地域の特性を活かした農業の振興を（改めて生乳のPR等） 2. 特徴のあるショッピングストリートを 3. ママが働ける場所を考えてほしい 4. 大型店舗などの誘致を抑制し、駅前通り（商店街）などがシャッター街とならないよう個人店を入れてほしい	

■第 1 1 回（平成 3 0 年 1 1 月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意 見・要 望・質 疑 等	回 答 内 容 等
那須塩原市で 必要なまちづ くりとはどの ようなものか	●若者を引き付けるためには総合大学の誘致が必要。 ●観光客誘致のための那須塩原駅周辺の整備、テーマパークの建設など。 ●更なる企業・工場誘致を推進し、雇用確保と人口増加につなげるべき ●県北の中心都市にふさわしいインフラ整備を ●新庁舎はコストパフォーマンスの高い施設にしてほしい ●西那須野～那須塩原駅間を賑わいのある地域に ●将来を見据えた農業政策が必要	
他の参加者の 意 見 を き い て、さらにど んなことを感 じたか 具体的にどん なことができる か、したい か	●那須塩原駅前を音楽や食など様々なイベントができる空間に ●那須塩原駅東口の整備も進展させるべき ●栃木県初のコストコ誘致 ●インフラに見合った人材の確保が必要 ●国道沿いに道の駅 ●生乳生産本州一をアピールする施設を那須塩原駅前に ●那須塩原駅東西を結ぶ地下通路の建設	
まとめ	●地域的に那須塩原駅周辺と新庁舎建設に関する意見が多く、特に駅前に関しては地域住民の期待の高さを感じられる。 ●将来を担う子供たちに対する意見も多く、参加者の持続可能なまちづくりに対する強い思いを感じられる。	

その他	●市の将来のためにも子供の貧困対策を充実させてほしい ●子育てや介護対策をもっと充実してほしい ●学童保育の待機児童解消必要	
-----	--	--

■第11回（平成30年11月開催）

会場 東那須野公民館

テーマ等	意見・要望・質疑等	回答内容等
那須塩原市で 必要なまちづ くりとはどの ようなものか	那須塩原駅東アングラーの早期整備 道路面が荒れている、危険なので早期整備を 遊歩道の整備 駅前公園があれば良い 那須塩原駅の駐輪場は少ない 那須塩原駅東口の整備が必要 街灯が少ない 高校生の通学バスの本数が少ない 那須の観光施設とタイアップしたイベントを 工場誘致が少ない 牛乳を使ったお菓子の商品化 図書館をつくる	
他の参加者の 意見をきい て、さらにど んなことを感 じたか	まちづくりにまず、道路整備が必要 通勤時間帯の渋滞緩和 学生が集える場所があれば良い 観光で那須塩原の商品をつくる 駅前公園と学習スペースができるとよい 気軽にいれるカフェがあれば良い 自転車用の路線整備ができれば良い 那須の有名なお店とコラボした商品づくり	
具体的にどん なことができ るか、したい か	歩道の整備 施設の新設ではなく空き家を活用 くろいそ駅前図書館に学習スペースをつくる 牛乳を使った食べ物の商品化 観光施設をつくる 通学用バスの本数を増やす	

まとめ	まちづくりには、まず、道路整備、車道歩道、自転車用道路の整備 観光で那須塩原の商品開発やイベントをつくる 駅前公園や学生の集まる場所、学習スペースが必要 那須塩原駅前の整備が必要	
その他	議会報告会を年代別でやってはどうか 報告会で出た意見に結果を出してほしい 自治会のあり方に関心がない	